



# オカダアイヨン株式会社

(東証一部 6294)

## 2022/3月期 3Q 決算説明資料



## **1. 会社概要／当社の歩み**

## 2. 2022／3期 3Q業績概要

## 3. トピックス

## 4. 参考資料（2022年3月期）

# 会社概要（21/3月末現在）



事業内容	建設機械及び林業機械の製造、販売、修理
グループ会社	(株)アイオンテック(主力組立工場) 南星機械(株) (林業機械等製造・開発・販売) オカダアメリカ、オカダヨーロッパ ※2021/5/1より、タイ駐在員事務所はオカダタイに現法化
創業	1938年7月(設立1960年)
資本金	2,221百万円
拠点 (グループ計)	国内22、海外5 ※南星盛岡営業所は2021/4/1よりオカダに統合
売上高	17,591百万円
従業員	451名(連結)

本社外観（大阪市港区）

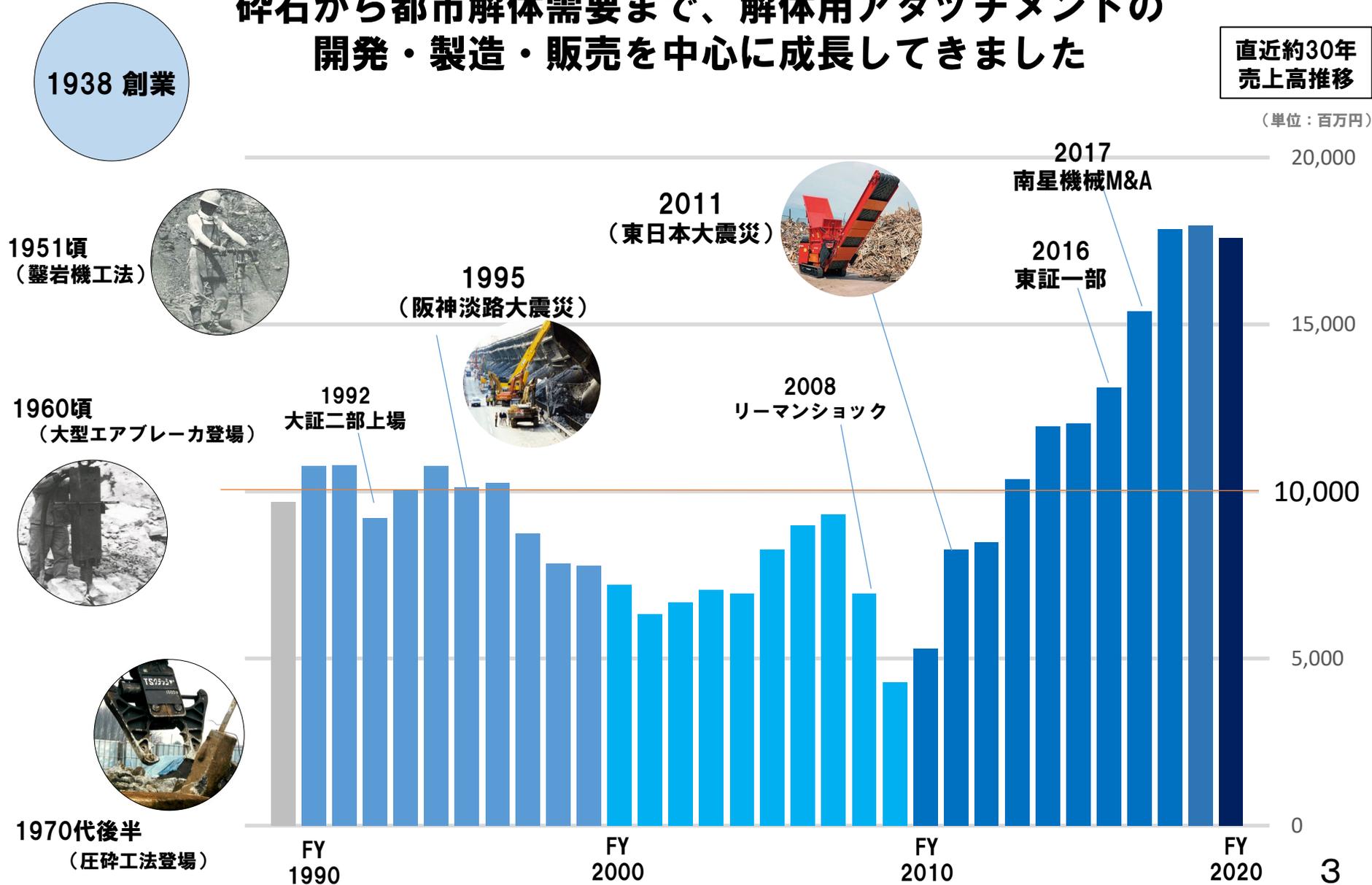


# 当社の歩み

さいせき  
**砕石から都市解体需要まで、解体用アタッチメントの  
 開発・製造・販売を中心に成長してきました**

直近約30年  
 売上高推移

(単位：百万円)



1938 創業

1951頃  
 (鑿岩機工法)

1960頃  
 (大型エアブレーカ登場)

1970代後半  
 (圧砕工法登場)

-  1. 会社概要／当社の歩み
-  **2. 2022／3期 3Q業績概要**
-  3. トピックス
-  4. 参考資料（2022年3月期）

# 2022年3月期第3四半期業績



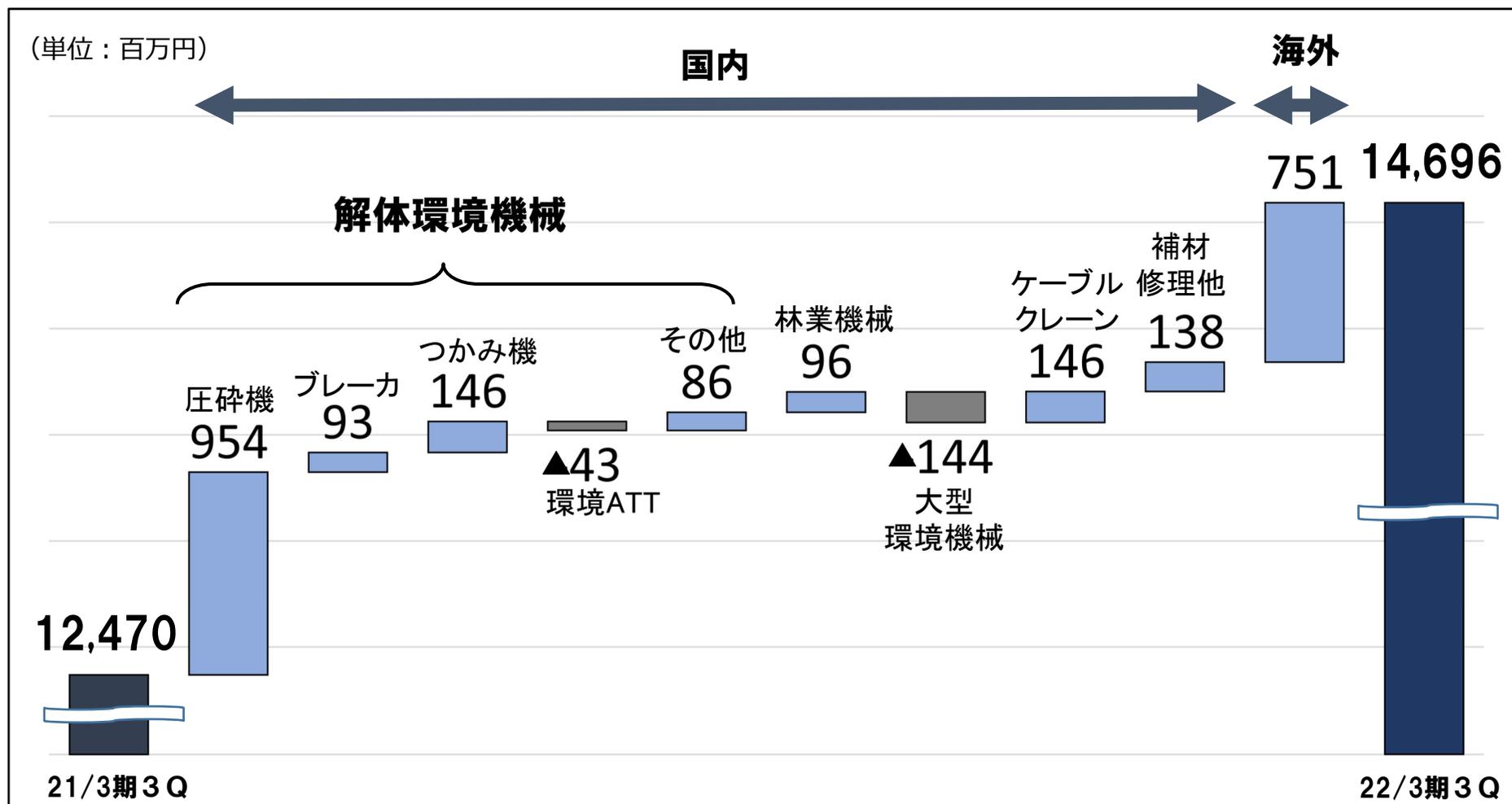
## ● 第3四半期累計で過去最高売上・最高利益を達成

(単位：百万円)

	21/3期 3Q実績	22/3期3Q 実績		前年 同期比 増減 (額)	前年 同期比 増減(%)
			通期 進捗率(%) (2022.11.12発表)		
売上高	12,470	14,696	74.8	2,225	17.8
営業利益	988	1,350	72.9	362	36.7
経常利益	1,019	1,361	73.4	342	33.6
四半期純利益 (当社株主帰属)	606	852	71.0	246	40.6

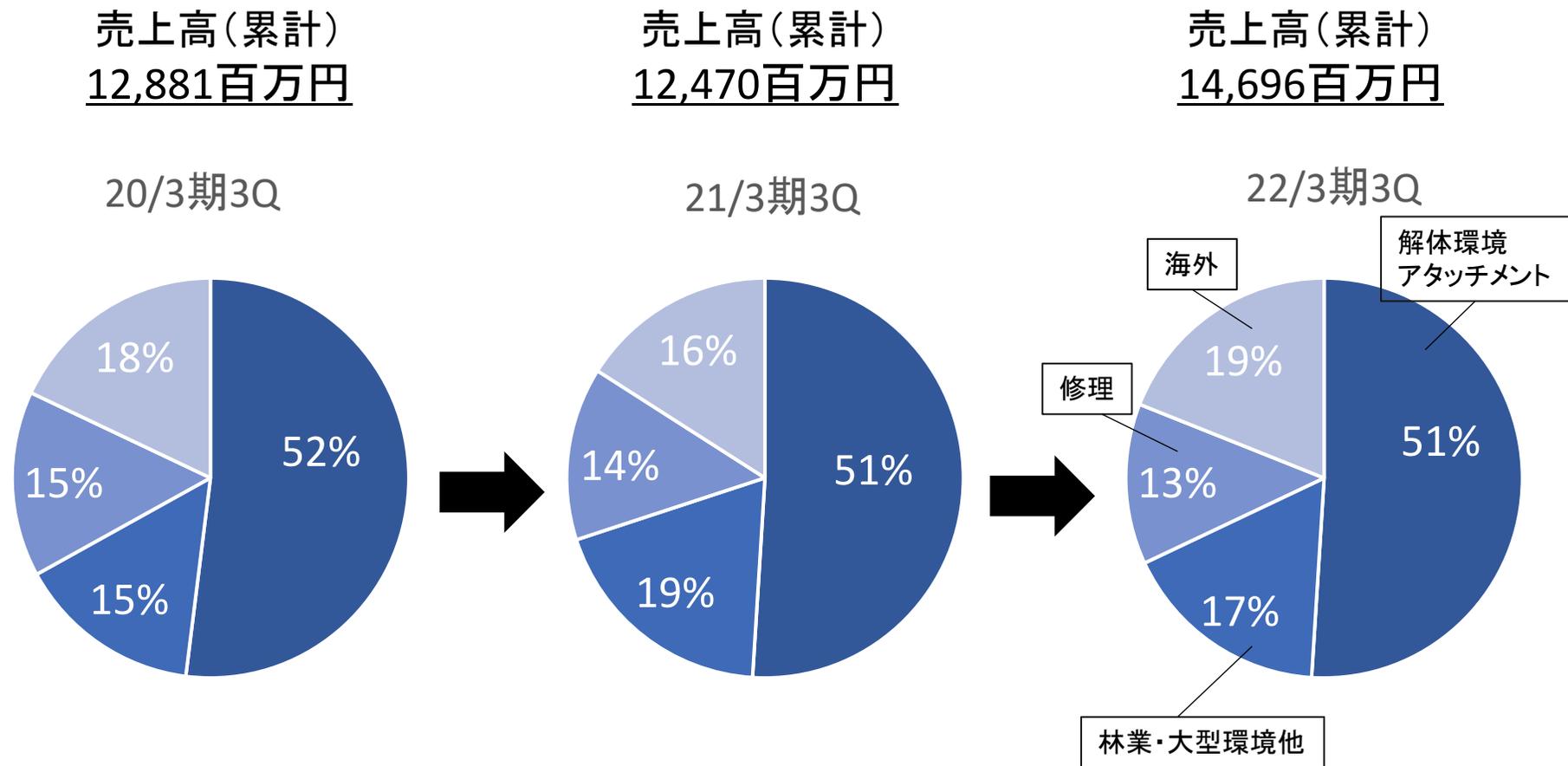
# 売上高増減要因

- 国内では、オカダ大展示会（6月）・林業展（10月）の販促効果も寄与し、圧砕機売上が好調
- 海外では、主力の北米で経済活動が回復したことに加え、欧州・アジアも順調に推移



# セグメント・事業別売上（3Q推移）概要

- 構成比率に大きな変化は無いが、海外3拠点の売上が順調に拡大し海外売上比率が上昇



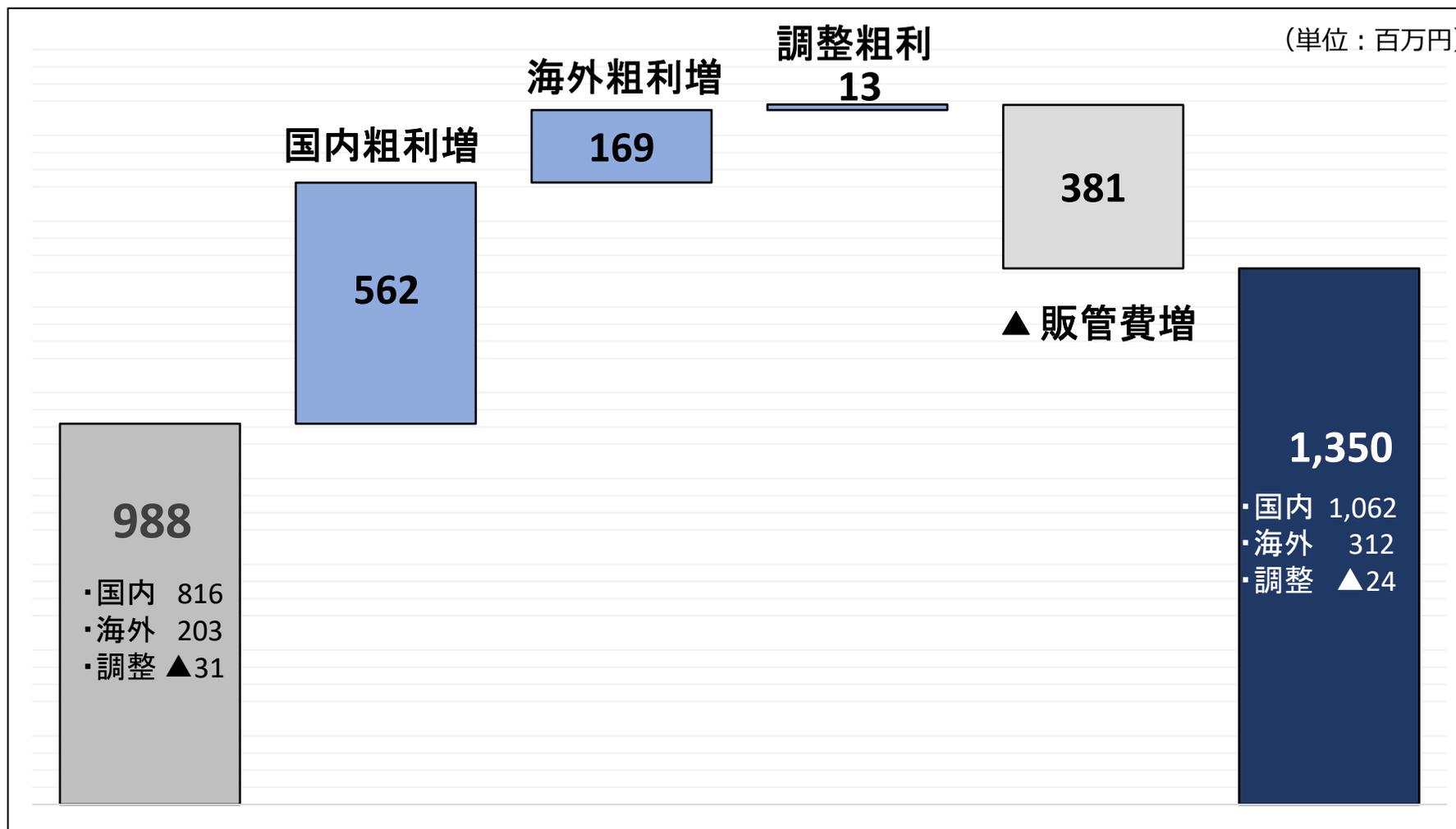
# 機種別売上（3Q推移）

● 第1四半期連結累計期間よりセグメント区分を変更し、変更後のセグメント区分に組み替えて行っております（単位：百万円）

			20/3期3Q	21/3期3Q	22/3期3Q	前期比		前々期比
						金額	増減(%)	増減(%)
国内	解体環境 アタッチメント	圧砕機	4,415	3,925	4,879	954	24.3	10.5
		ブレーカ	628	575	668	93	16.2	6.3
		つかみ機	587	781	928	146	18.7	58.1
		環境アタッチメント	430	472	428	▲43	▲9.2	▲0.4
		その他	649	554	641	86	15.7	▲1.3
		計	6,711	6,309	7,546	1,236	19.6	12.4
	林業・ 大型環境他	林業機械	449	478	575	96	20.2	27.9
		大型環境機械	543	670	525	▲144	▲21.6	▲3.2
		ケーブルクレーン	552	824	970	146	17.7	75.7
		その他	439	407	428	20	5.0	▲2.6
		計	1,985	2,381	2,500	118	5.0	25.9
	修理	補材	1,322	1,179	1,248	69	5.9	▲5.6
		修理	607	579	628	48	8.4	3.5
		計	1,930	1,759	1,877	117	6.7	▲2.7
	国内セグメント計			10,626	10,450	11,924	1,473	14.1
海外	米国地域	1,609	1,313	1,624	310	23.7	0.9	
	欧州地域	309	340	540	199	58.6	74.3	
	アジア地域（中国を含まず）	298	331	403	72	22.0	35.5	
	その他	37	34	203	168	482.6	445.4	
海外セグメント計			2,254	2,020	2,771	751	37.2	22.9
連結計			12,881	12,470	14,696	2,225	17.8	14.1

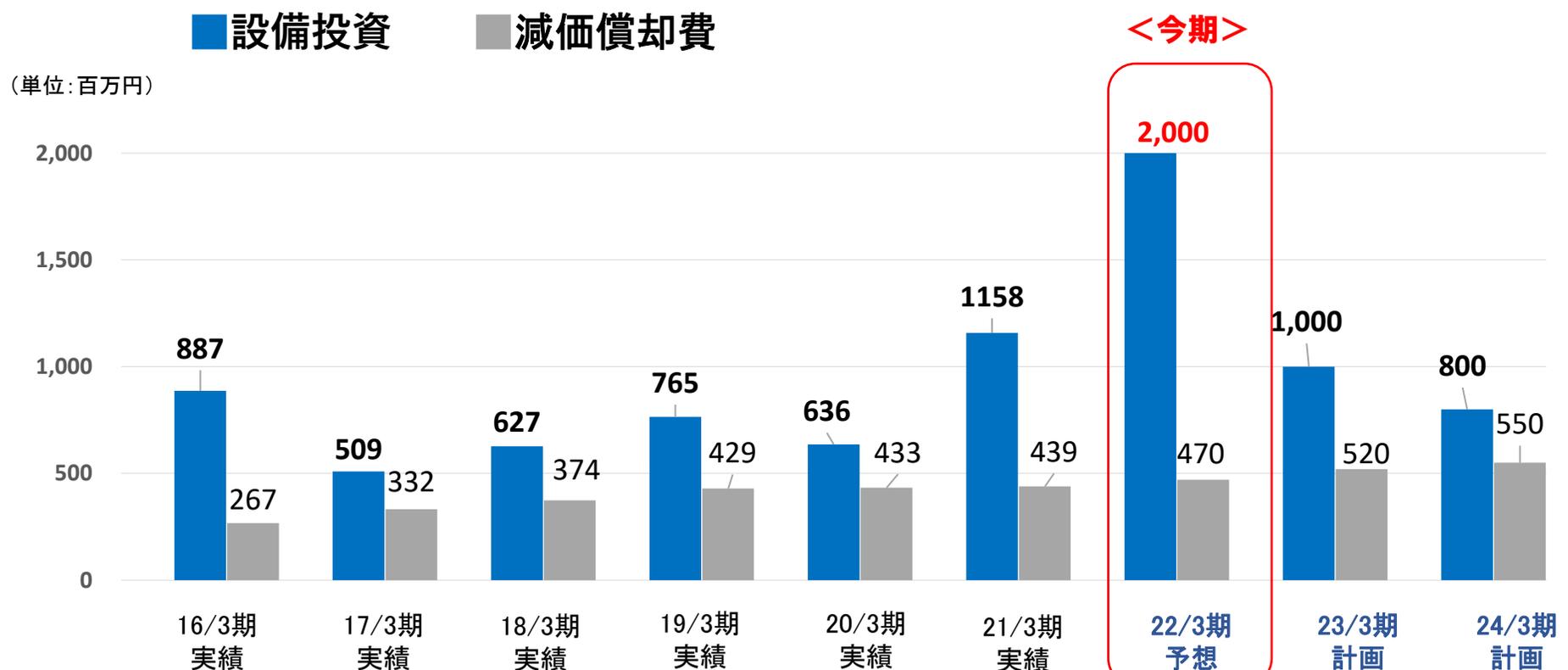
# 営業利益増減要因

- 国内は、解体アタッチメント・林業機械が順調に伸び、前期比246百万円の営業利益増（同30.1%増）
- 海外は、主要3拠点が順調に推移した結果、同109百万円の営業利益増（同54.1%増）



# 設備投資・減価償却費

- ◆ 盛岡営業所(23/3期)・札幌営業所(24/3期)の設備投資は、予定を変更し今期前倒しで行う
- ◆ 増産のための主力工場(アイオンテック)拡張と大型機メンテナンス対応強化及び職場環境改善のための営業所(兼整備工場)建替投資を計画的に実施 (今期が設備投資のピーク)



<投資内容>    アイオンテック工場    北陸営業所    アイオンテック工場 M&Aのれん    湘南営業所 四国営業所    本社整備工場 四国営業所    湘南営業所 広島営業所 アメリカ本社    中部営業所 広島営業所 仙台営業所 盛岡営業所 札幌営業所    アメリカ本社 札幌営業所    アイオンテック工場

# 通期業績予想

● 売上高を200億円に修正、現行中計2年目目標を1年前倒して達成予定 (単位：百万円)

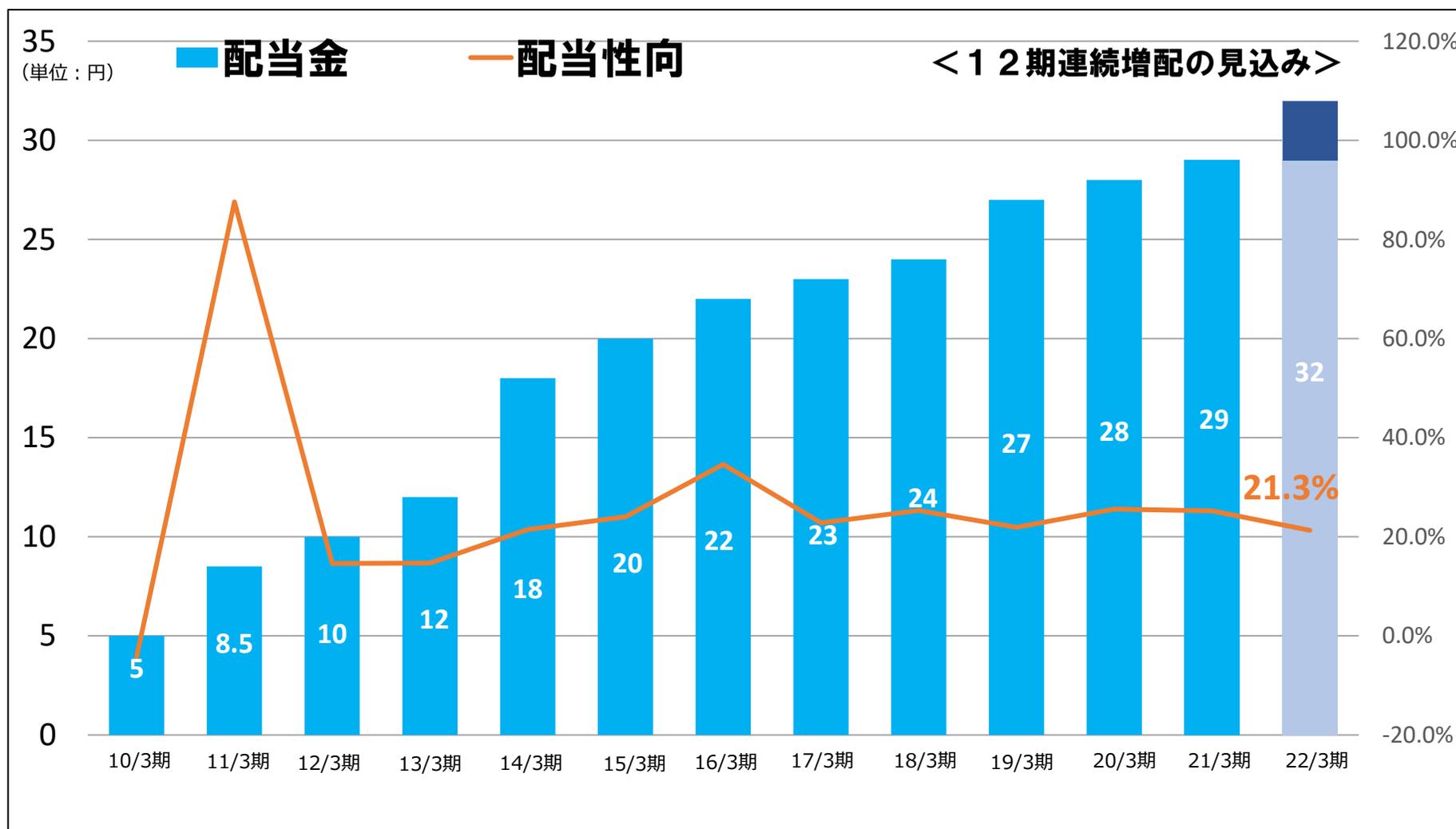
	21/3期 実績	22/3期 修正予想 (2021.11.12発表)	22/3期再修正予想 (2022.2.10発表)				
			22/3期 再修正予想 (2022.2.10発表)	前回発表 増減(額)	前回発表 増減(%)	前期比 増減(額)	前期比 増減(%)
売上高	17,591	19,656	20,000	343	1.7	2,408	13.7
営業利益	1,377	1,852	1,852	—	—	475	34.6
営業利益率	7.8	9.4	9.3	—	▲0.1	—	1.5
経常利益	1,433	1,856	1,856	—	—	422	29.5
四半期純利益 (当社株主帰属)	919	1,200	1,200	—	—	281	30.6

# 四半期毎業績

セグメント		(単位：百万円)	2021/ 3月期		2022/ 3月期			
			3 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q (予想)	2022/ 3月期合計 (計画)
売上	国内	解体環境機械	2,169	2,186	3,029	2,330	—	—
		林業・大型機械 ・ケーブルクレーン	619	897	791	812	—	—
		修理・補材	571	606	610	660	—	—
		国内セグメント小計	3,361	3,690	4,431	3,802	—	—
	海外	海外セグメント小計	653	969	965	836	—	—
	売上合計		4,014	4,660	5,396	4,639	5,303	20,000
利益	営業利益		252	429	593	328	501	1,852
	国内		194	272	487	303	—	—
	海外		66	162	117	33	—	—
	調整		▲9	▲4	▲10	▲9	—	—
	営業利益率		6.3	9.2	11.0	7.1	9.5	9.3

# 配当実績推移と計画

- 2021年度期初計画の年間配当30円を、同年11月に1円増配
- 更に今回（2月）1円増配し、年間32円を計画



-  1. 会社概要／当社の歩み
-  2. 2022／3期 2Q業績概要
-  3. トピックス
-  4. 参考資料（2022年3月期）

# トピックス（国内営業所〈兼整備工場〉の充実）



北陸営業所（2016年10月）



四国営業所（2019年11月）



湘南営業所（2020年10月）



広島営業所（2021年10月）

★中部営業所（2022/1月開所）

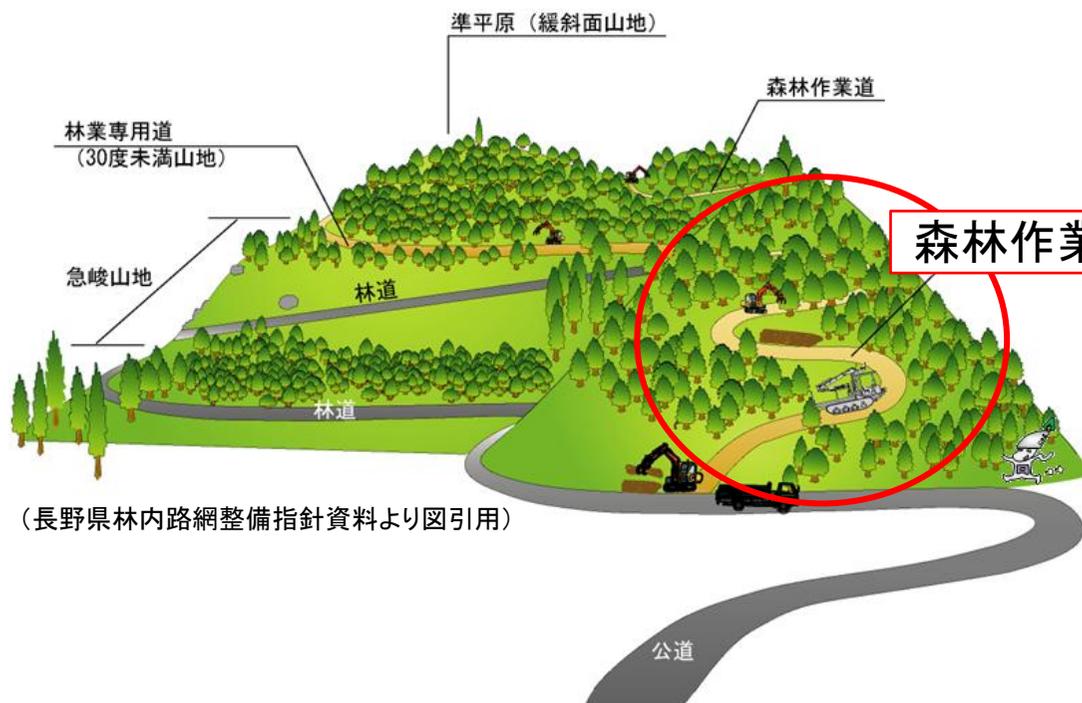


●仙台営業所（2022/3月予定）



# トピックス (森林作業道作りに便利なアタッチメント)

◆ 林地での伐採作業の前提として、木材運搬等を行う為の森林作業道作りがまず必要



(長野県林内路網整備指針資料より図引用)



オカダハイブリットバケット(OHB-120)

オカダハイブリットバケット1台で、森林作業道作りの4工程に対応可能／省人化・効率化を実現



【伐採】



【運搬】



【除根・埋め戻し】



【斜面の整形】

-  1. 会社概要／当社の歩み
-  2. 2022／3期 2Q業績概要
-  3. トピックス
-  **4. 参考資料（2022年3月期）**

# 拠点



- オカダアイオン 12拠点
- アイオンテック 1拠点
- 南星機械 9拠点

※南星盛岡営業所は2021/4月よりオカダに統合

- オカダアメリカ 3拠点 (本社/オレゴン)
- オカダヨーロッパ 1拠点 (本社/オランダ)
- オカダタイ 1拠点 (本社/アユタヤ)

※タイ駐在員事務所を2021/5月より現地法人化

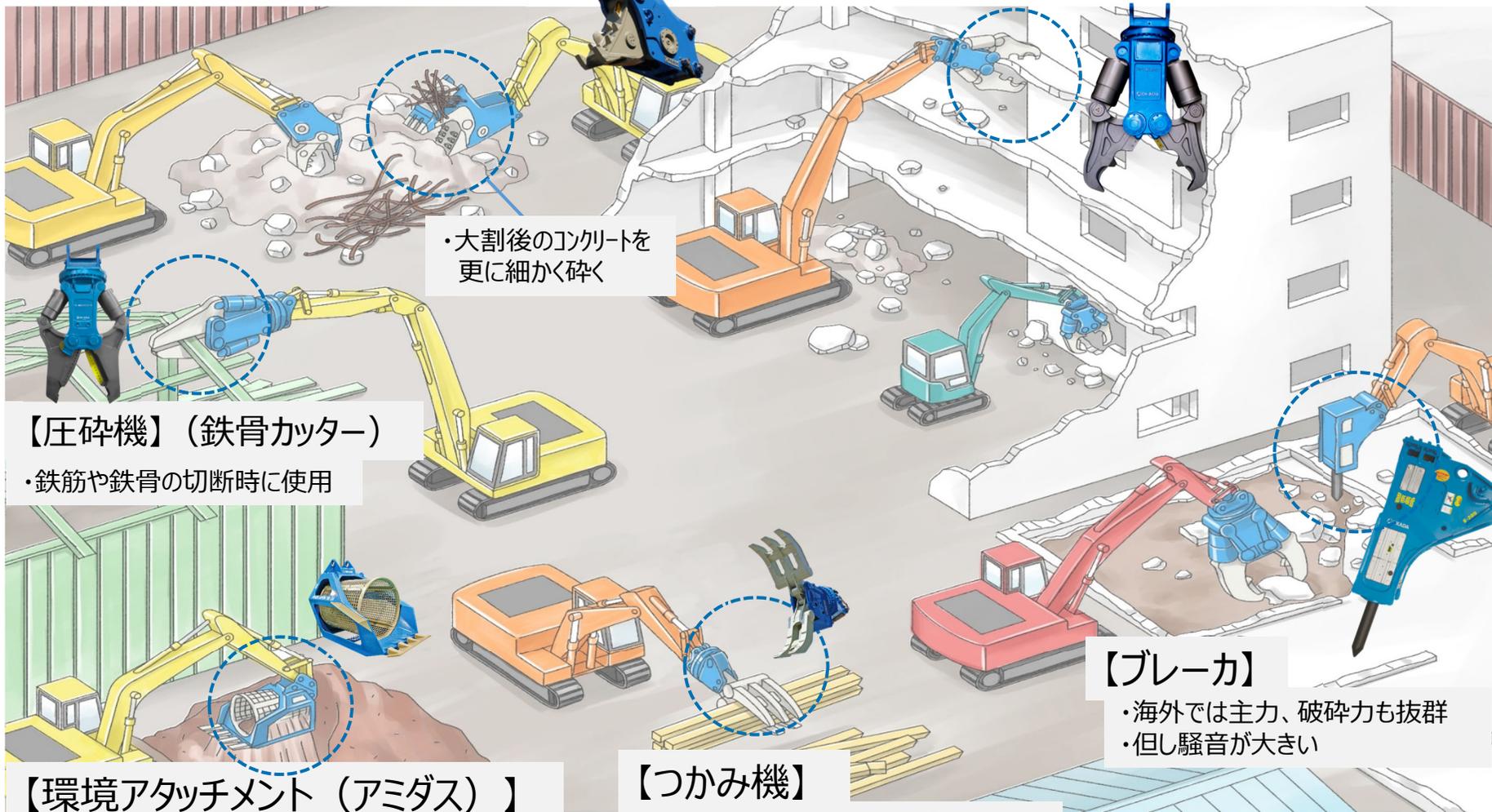
# 商品用途（解体用アタッチメント）



～国内外全メーカーのショベルに取付可能～

【圧砕機】（小割機）

【圧砕機】（大割機） ・ビル解体時に主要部分を解体



・大割後のコンクリートを更に細かく砕く

【圧砕機】（鉄骨カッター）

・鉄筋や鉄骨の切断時に使用

【ブレーカ】

・海外では主力、破砕力も抜群  
・但し騒音が大きい

【環境アタッチメント（アミダス）】

・ショベルに負担を掛けず、  
様々な混合物を選別／ふるい

【つかみ機】

・木造家屋解体やスクラップ集材、  
災害時にも活躍する万能機

## 商品用途（大型環境機械）



OKADA

【中低速回転機】



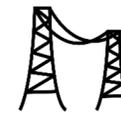
- 大きな丸太から破碎可能
- 東北震災時にはガレキ処理で活躍

【高速回転機】



- 木材を木片チップに切削
- チップはバイオマス発電等で活用

# 商品用途（林業機械・ケーブルクレーン）



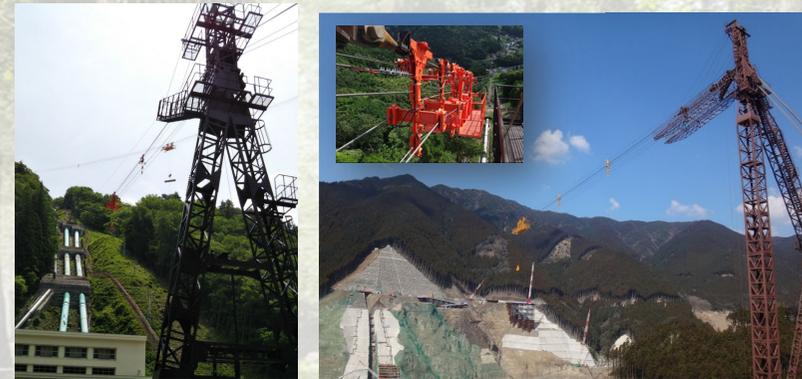
**OKADA**

## 【林業機械】



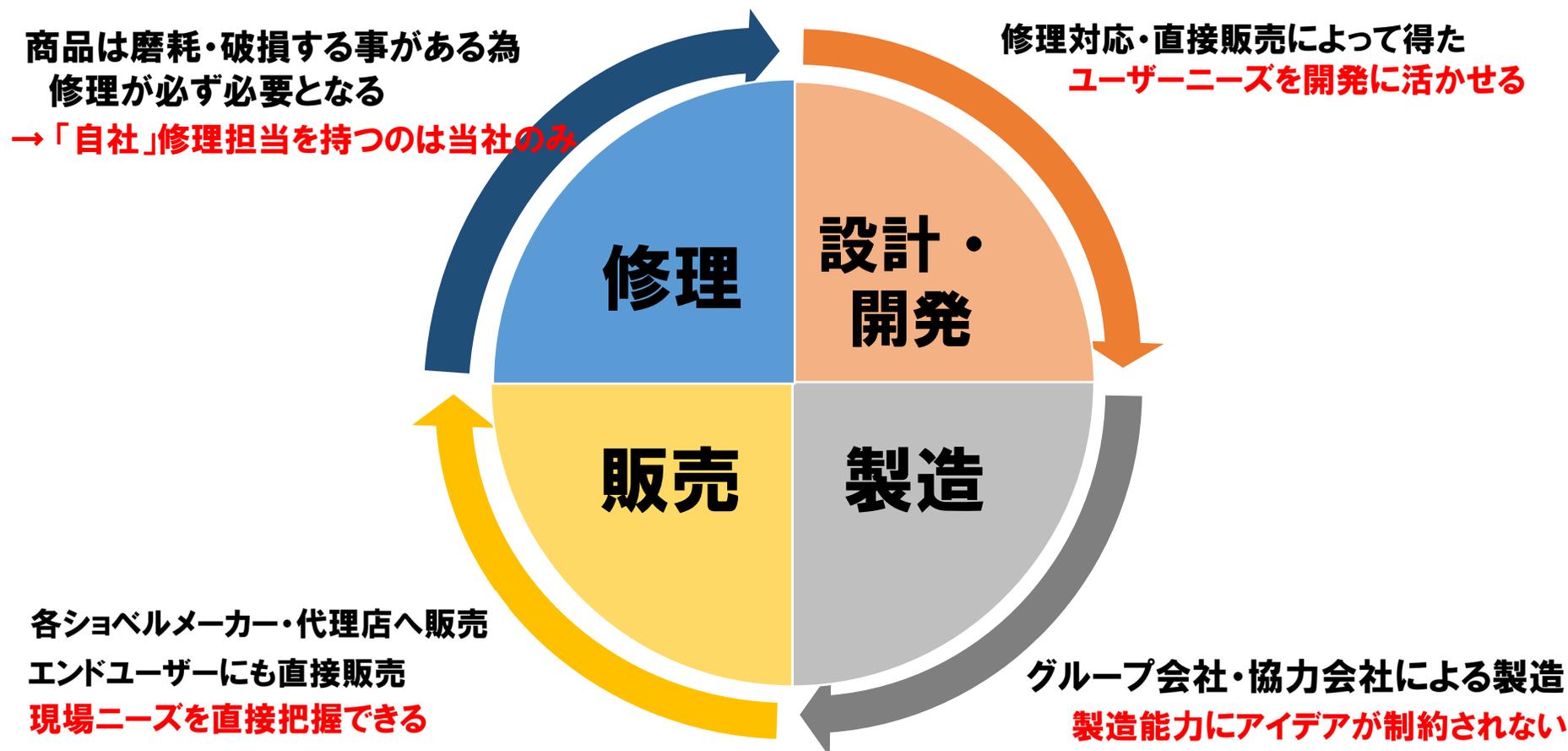
- ・森林にて木材を伐採
- ・一台で枝払い、剪定、運搬までこなす

## 【発電所・ダム建設用 ケーブルクレーン等】

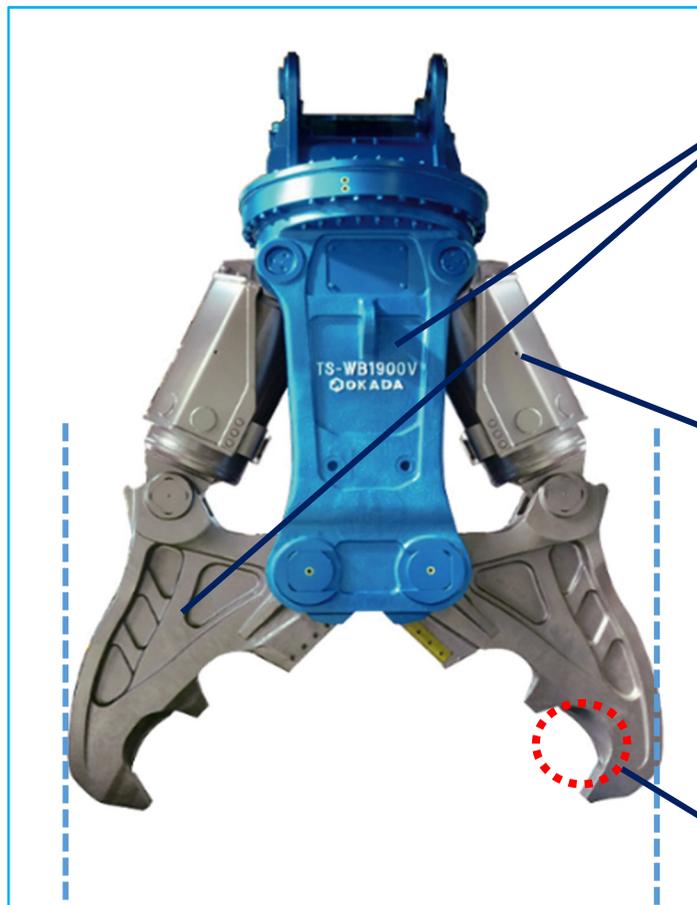


- ・道の無い山の斜面での  
生コンクリート・資材等の運搬に
- ・老朽化した水力発電所の  
パイプ交換工事に

## 一気通貫の循環モデル



# 製品の特徴

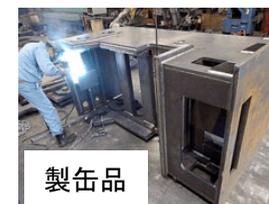


## 当社のこだわり

解体で特に**強度**が求められる「大割機」「鉄骨カッター」に  
「**鋳鋼品(ちゅうこうひん)**」を使用

※「**鋳鋼品**」・・・特殊鋼を溶かして型枠に流し込み製造  
繋ぎ目が無く、「**製缶品**」より**強度が高い**  
自由に成型でき、**デザイン性に優れる**

↑ ↓  
「**製缶品**」・・・鉄板を溶断し、溶接にて製造

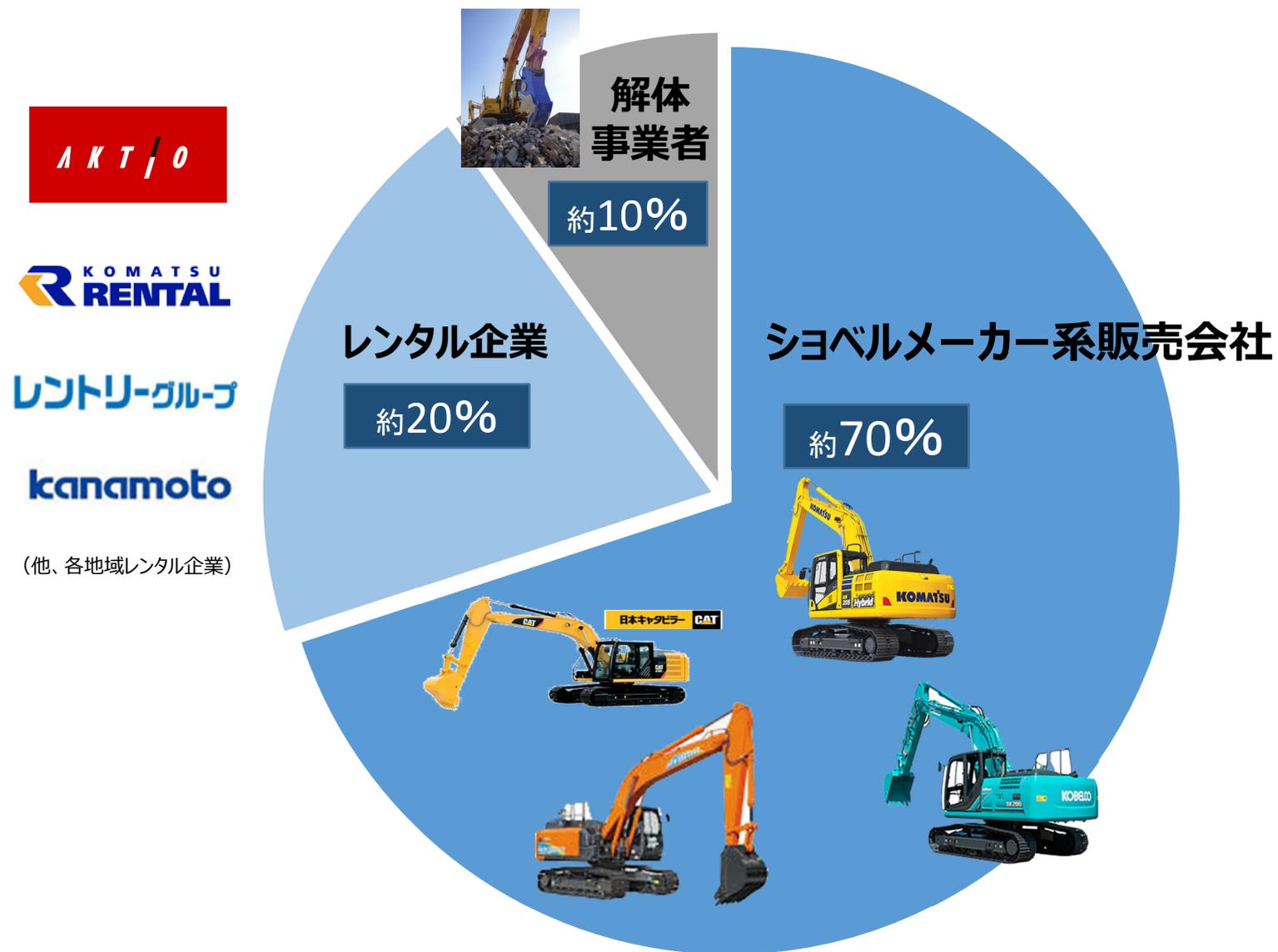


シリンダーには**増速バルブ**を搭載し、**パワーとスピードを両立**

ウエッジアームの採用で**抜群の破砕力**を実現

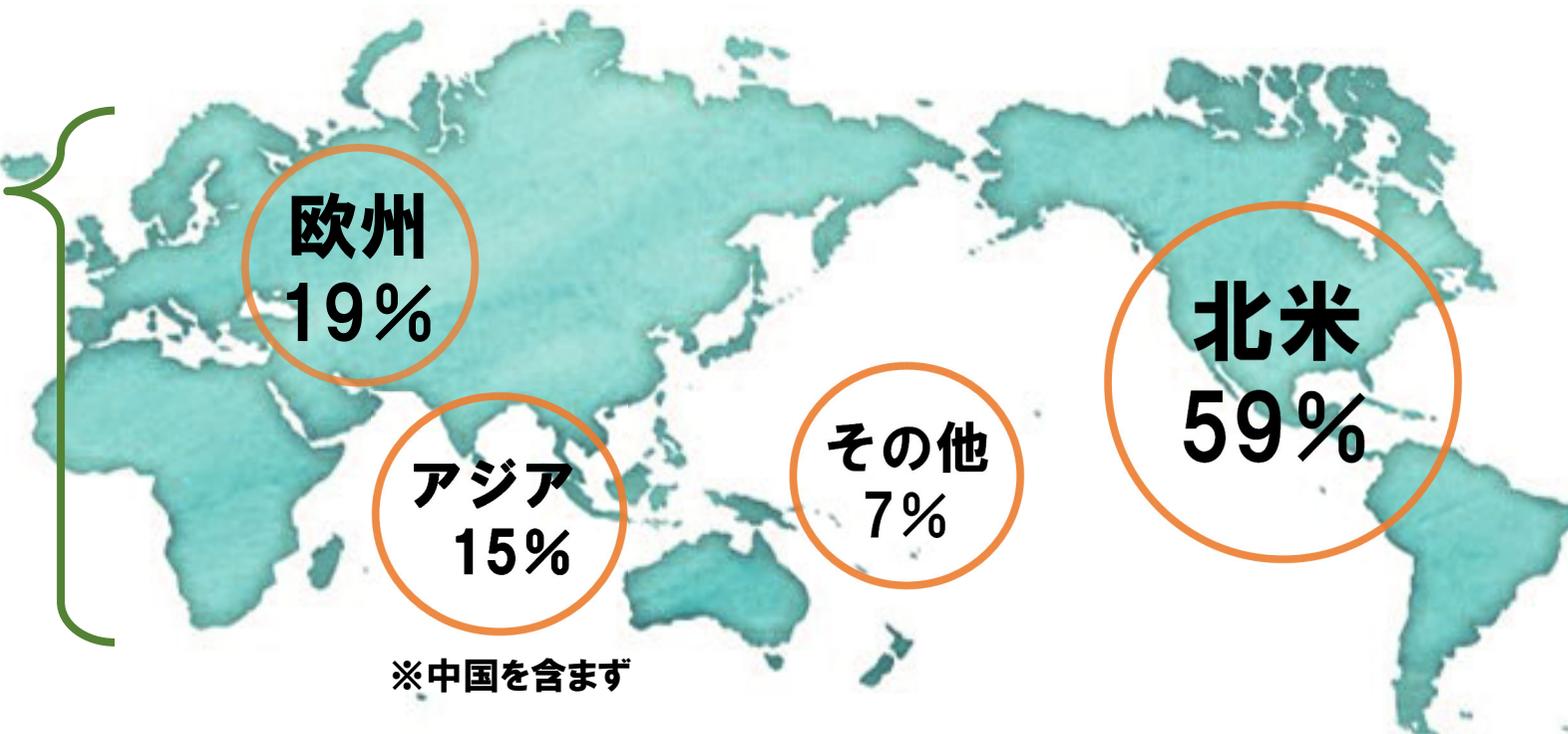
閉じるにしたがってアームが張り出さず、  
**住宅密集地**でも操作可能

# 商品販売先（国内）

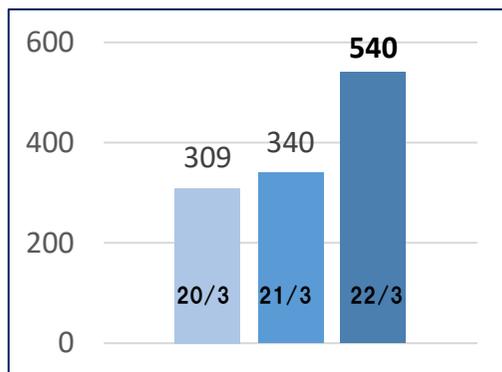


# 海外エリア別売上内訳 (2022/3月期3Q)

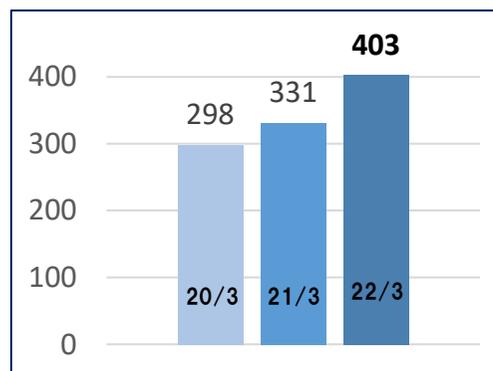
(販売構成)



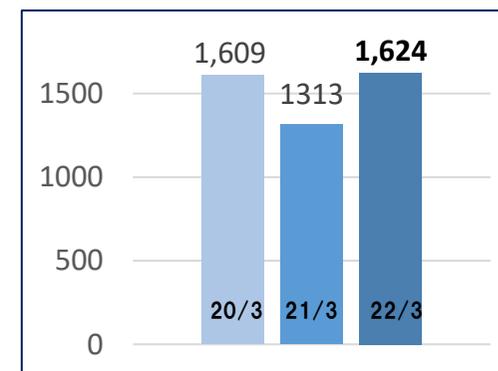
【欧州】



【アジア】



【北米】

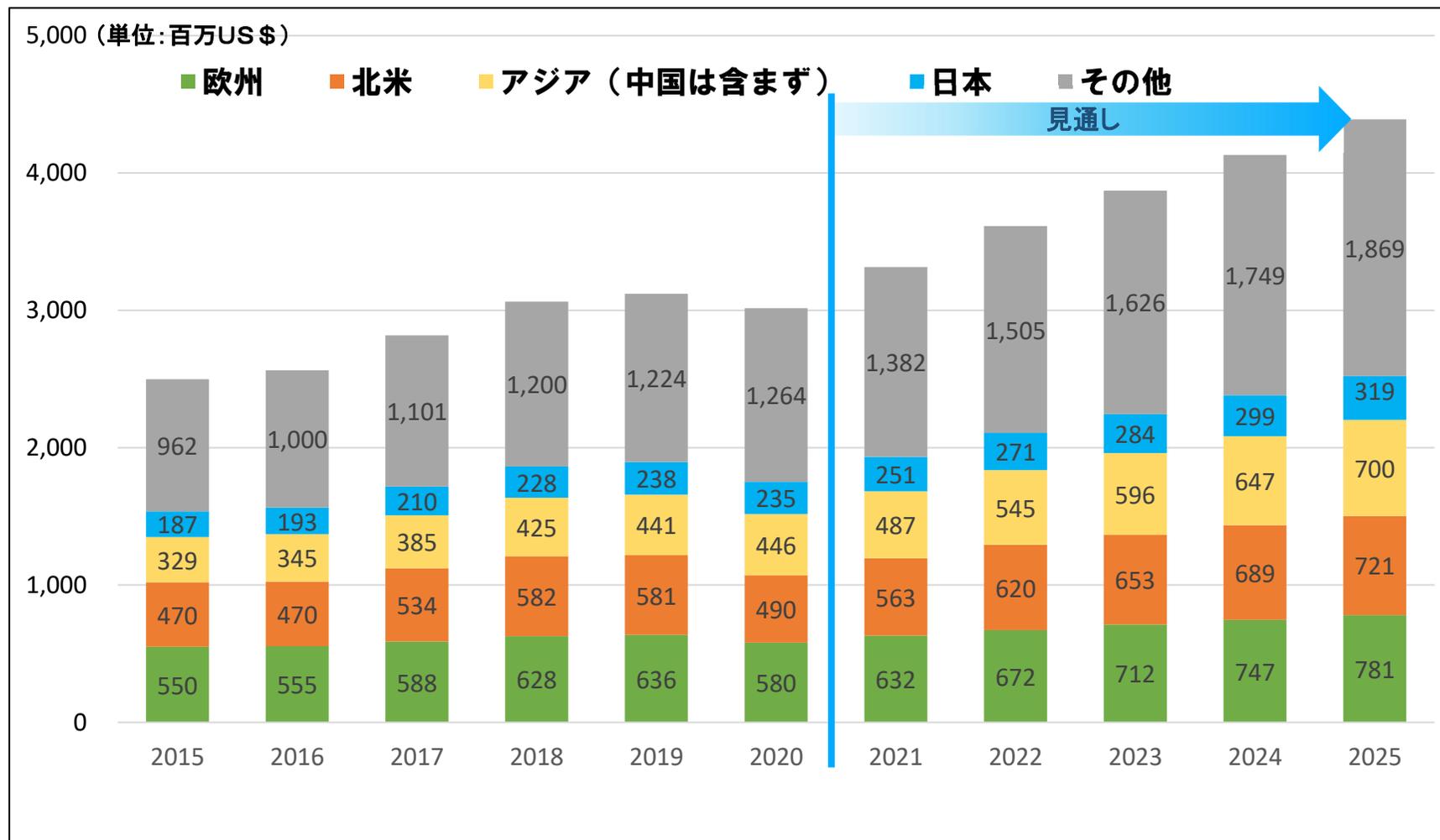


(各地域3Q推移/単位:百万円)

# グローバル市場の成長見通し

## 解体アタッチメント市場

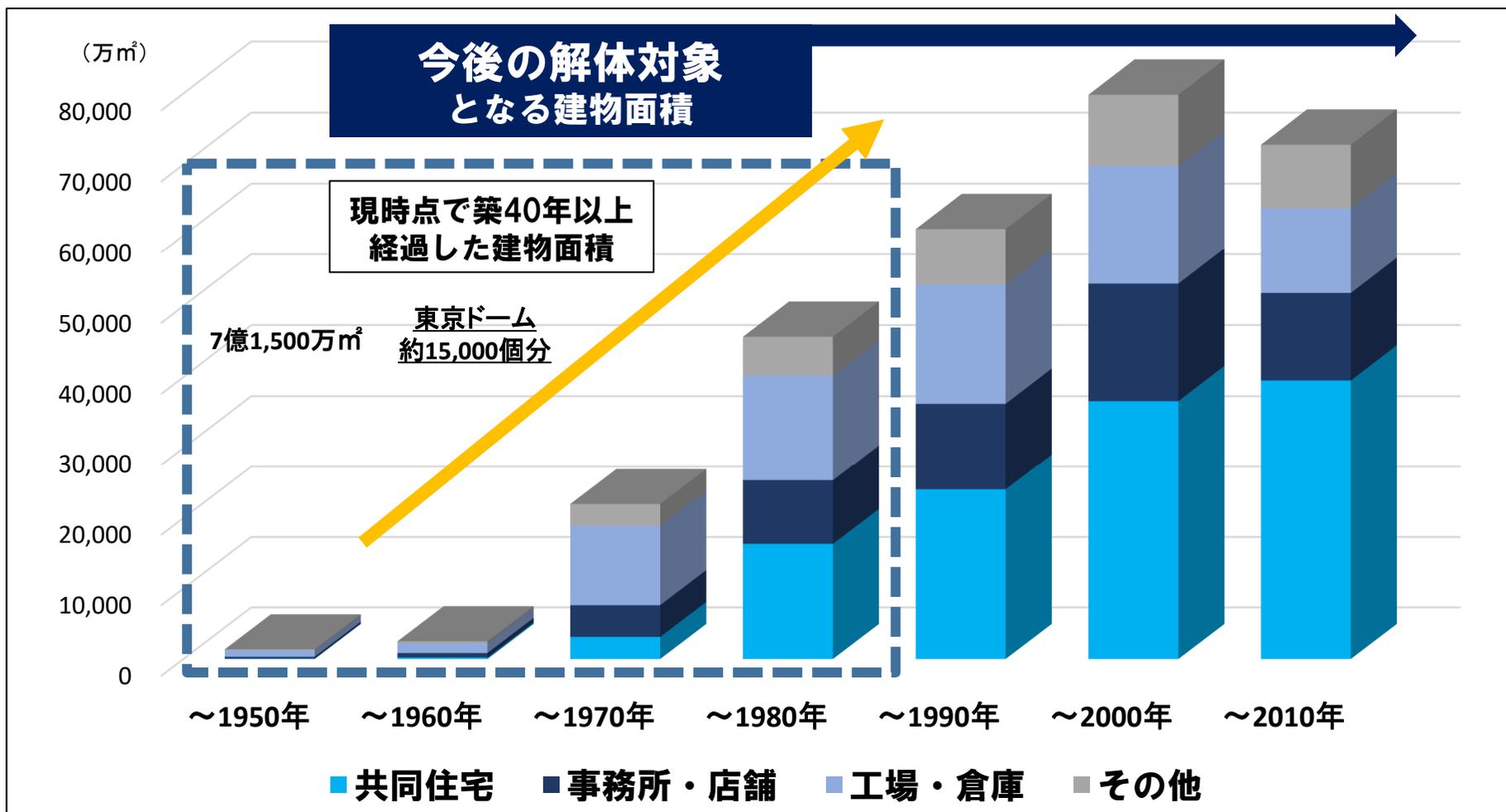
- ◆注力市場の「米国」「欧州」「アジア」における2021/2025のCAGR(年平均成長率)は約7.0%
- ◆「日本」の2021/2025のCAGR(年平均成長率)も約6.2%



「民間リサーチ会社の調査資料をもとに当社作成」

非木造建物(コンクリート建物)の建築年代と建築面積

◆ 築40年以上の解体建物対象を見ると、解体需要はこれからが本格化(毎年東京ドーム約1,500個分相当の面積が対象に)

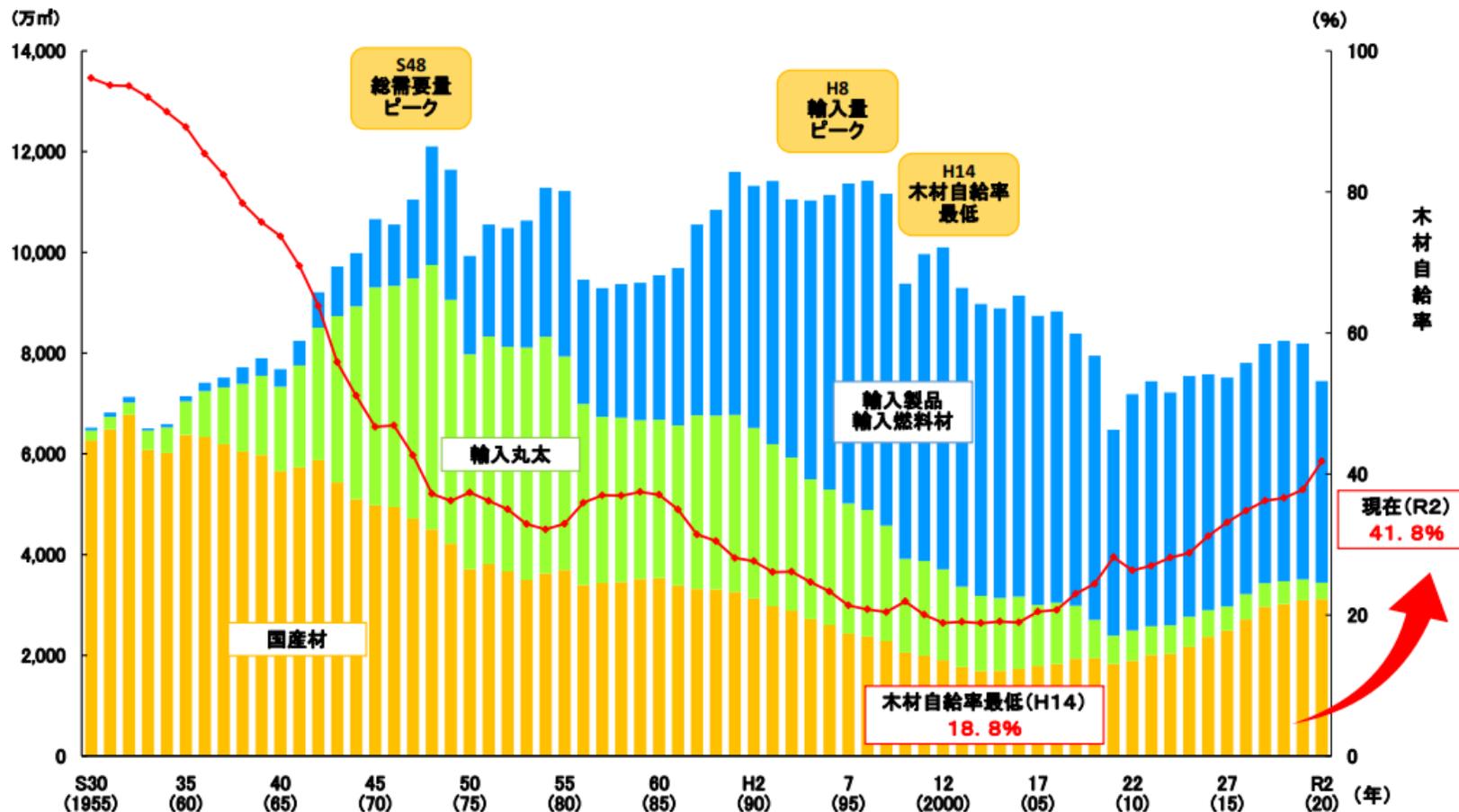


◆東京ドームの床面積を46,000㎡として換算

国土交通省「建築物ストック資料」より当社作成

### 木材供給量及び木材自給率の推移

- ◆ 高度成長期に、国産木材の不足を補うかたちで増加した輸入木材が、長期間国産材を凌駕し続けてきたが、40～50年前に植林した人口造林が伐採適齢期となり、間伐問題等の環境保全の観点から国も国産木材の利用を促進
- ◆ その結果、木材自給率は10年連続上昇(18.8% → 41.8%)し、作業効率が改善する林業機械の活躍の場はますます拡大中



林野庁「『令和元年木材需給表』の公表について」(2021年9月30日発表)

本資料に掲載されている計画、見通しに関する内容については、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づき判断した予想であり、リスクや不確定要素を含んでいます。

従いまして、掲載された将来の計画数値、施策の実現を確約、あるいは保証するものではありません。

(お問い合わせ先)  
オカダアイオン株式会社  
経営企画室

TEL 06-6576-1271 FAX 06-6576-1270

URL <http://www.aiyon.co.jp/>